

## 技能伝承のための部下・後輩指導育成 (OJTトレーナー育成)

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
20名	2日	12時間	9:15~16:00	8,500円

### ◆ 自考自律的な部下を育てる方法をマスターするコースです

#### 訓練内容

生産現場の現場改善における多種多様な技術の技能伝承を目指して、後輩育成のための指導技法を習得します。

- ① コース概要
- ② 技能伝承
  - ・技能伝承の重要性
  - ・部下・後輩指導育成の概要
- ③ 部下・後輩育成の進め方
  - ・目的の提示
  - ・現状把握/分析
  - ・育成計画と育成
- ④ 育成担当者の行動
  - ・育成担当者に求められる5つのスキル
  - ・個別カリキュラム設計
  - ・指導のポイント
- ⑤ 総合演習
  - ・部下指導育成の課題と育成計画の作成
  - 事例読み込み/部下後輩動機付け面接/育成計画作成
  - ・講師講評
- ⑥ まとめ

#### 対象者

部下のやる気を引き出し、自ら考え律しながら成長していく部下育成法を習得したい方

#### 持参品

筆記用具

#### 使用機器

プレゼンテーション機器 等

コース番号	日 程
S011A	3/16(水) ~ 3/17(木)

#### 受講者の声

- 自分では思いつかないような考え方を聞けて勉強になりました。
- 色々な職種の方の意見を聞く事ができるいい機会になりました。
- こういう研修でなければ、一生わからなかった事などがあると思うので今回の研修に参加できて良かったと思います。
- 他の方の視点での発表がとてもいい勉強になりました。

## 戦略的現場管理者の育成 (できる管理者になろう)

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:15~16:00	15,500円

### ◆ 製造現場の中長期的な戦略を策定する能力を身につけるコースです

#### 訓練内容

監督者と管理者の役割の違いを認識し、高い視点と広い視野から戦略的に現場でマネジメントを行っていくことで現場の魅力を高め、顧客の評価を高めていくポイントを習得します。

- ① コース概要
- ② 管理者とは
  - ・監督者と管理者の違いと管理者の役割
  - ・戦略的視点と戦術的視点
  - ・課題設定/考察/意思決定
  - ・演習「製造現場の問題抽出と課題設定」
- ③ 管理の要点
  - ・管理の5機能
  - ・場造りと人造り
  - ・PDCAからRGPDCAへ
  - ・目標設定と進捗管理/リスク管理
  - ・戦略的人材管理
  - ・演習「管理の課題と原因分析」
- ④ 現場の魅力
  - ・現場の魅力を多面的に捉える
  - ・マーケティング戦略と製造現場の魅力
  - ・演習「製造現場の問題解決」
- ⑤ 総合演習
  - ・戦略立案 実行計画策定
  - ・戦略対象部門選定と現状把握/分析
  - ・到達目標設定(生産性・費用・利益率など)戦略立案/代替案立案
  - ・戦略の評価と実行計画の落とし込み
  - ・発表
  - ・講師講評
- ⑥ まとめ

#### 対象者

生産現場全体を管理する役割の方、または今後製造現場全体を管理する立場になる方

#### 持参品

筆記用具

#### 使用機器

プレゼンテーション機器 等

コース番号	日 程
S012A	1/13(木) ~ 1/14(金)

#### 受講者の声

- 自分が考えもしない手段がいくつもありました。
- 戦略立案のポイントで普段注意されていることが明確に理解することができました。
- 「管理者」としての基礎知識が理解できました。
- 実際に発生した問題企業の話は非常に引き込まれました。知らない考えがたくさんあり勉強になりました。
- 他業種の人と話す機会が得られて刺激になりました。
- これから管理職をやっていく中で、どう自分が動ければ良いかヒントをもらえました。

## 標準作業手順書の作り方と効果的な現場運用管理 (標準時間の活用と現場教育の実践応用)

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:15~16:00	8,000円

### ◆受講者の製造現場での標準作業手順書を実際に作成しマスターするコースです

#### 訓練内容

作業標準の必要性和標準化への具体的な現場での取り組みを学びながら、標準作業手順書の作り方と効果的な現場運用管理を習得します。また、標準時間と作業標準との関連及び国際規格と作業標準書との関係へと発展させながら、総合的に知り、総合実習を通じて、実際に受講者の現場の作業標準書を作成します。

- ① コース概要
- ② 作業標準とは
  - ・作業標準の必要性和目的、標準化と横展開の関係
  - ・作業が標準化されないとうなるのか
- ③ 作業標準書とは
  - ・作業標準書の様式、書き方、使い方
- ④ 標準時間と現場
  - ・標準時間とは
  - ・標準作業可能現場とは
  - ・標準時間と作業標準書との関係
- ⑤ 国際規格と作業標準書
  - ・国際規格と作業標準書との関係等
- ⑥ 作業標準書の管理
  - ・変更管理の必要性
  - ・変更管理ができていないとうなるのか
  - ・受講者の自職場での事例交換会
- ⑦ 作業標準書関連の工程表
  - ・工程表とは
  - ・工程表の様式と作成方法、及び変更管理、使い方
  - ・国際規格と工程表について、要求事項とは
- ⑧ 生産現場に活用できる応用課題実習
  - ・標準作業(設計・開発・加工・組立・検査)の明確化
  - ・標準時間の設定
  - ・作業標準書素案の作成
  - ・発表
  - ・講評
- ⑨ まとめ

#### 対象者

工場管理、生産・品質管理、物流管理、情報等に従事し、指導的・中核的な役割を担う方、またはその候補となる方

#### 持参品

筆記用具、定規(15~20cm程度)

#### 使用機器

プレゼンテーション機器 等

コース番号	日 程
S014B	10/4(月) ~ 10/5(火)

#### 受講者の声

- 今まで知らなかった作業標準作りを学ぶことができました。
- 自身が知らない事を知ることができたので、会社へフィードバックしたいと思います。
- 作業標準書の作成方法とポイントなど理解することができました。今後の役に立ちそうです。
- 現在している仕事と重なることが多かったのとでも勉強になりました。早速実務で活用していきたい。
- これまで作業標準書やQC工程表について学んだことがなかったので、すごくためになりました。
- 現状、マニュアル類が全くないので、出来上がればプラスにしかならないと思います。

## 生産現場に活かす品質管理技法 (原理とデータの実践的な展開とリーダー育成のために)

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	3日	18時間	9:15~16:00	12,000円

### ◆製造現場での検査工程管理作業の統計的データ解析技術と問題発見技法をマスターするコースです

#### 訓練内容

製造業における部品加工や検査等の効率化・最適化するために必要な検査工程管理作業における統計的データ解析技術と問題発見技法を習得します。また、得られた測定データから問題点を抽出し、それらを業務改善に活かすポイントを習得します。

- ① コース概要
  - ② 品質管理概論
    - ・品質管理/品質保証/品質改善(問題解決)/統計学
    - ・品質管理の重要性
    - ・モノづくり部門のQC的見方・考え方
    - ・データの取り方とまとめ方
  - ③ 統計的手法を活用した製造・検査工程の品質向上
    - ・製造業における統計手法の重要性
    - ・製造ラインにおける分散と標準偏差
    - ・正規分布
    - ・推測統計/記述統計
    - ・相関
    - ・管理図を活用した製造工程の状態分析
  - ④ 管理図を用いた製造工程の管理
    - ・管理図の種類と用途
    - ・管理図の作成方法
    - ・管理図の見方と製造工程の問題発見
  - ⑤ 工程能力とその活用
    - ・工程能力指数の意味と理想的工程能力指数
    - ・工程能力指数による製造工程の問題発見
  - ⑥ 製造現場に活用できる応用課題実習
    - ・受講者の製造現場で発生している品質管理上の問題点の整理
    - ・受講者の製造現場での問題点に対する具体的解決策
  - ⑦ まとめ
- ※ QC検定合格に向けての内容ではありませんのでご注意ください。

#### 対象者

製造業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う方、またはその候補となる方

#### 持参品

筆記用具、関数電卓(貸出可)

#### 使用機器

プレゼンテーション機器、表計算ソフト 等

コース番号	日 程
S015A	11/24(水) ~ 11/26(金)

#### 受講者の声

- 今まで仕事上関わっていない内容だったので、今後の仕事の幅が広まりました。
- 品質管理業務に今後実用できそうなことを習うことができました。
- 仕事で使用していますが、理論的に深まりました。
- 日常業務に取り入れて品質向上につなげたいです。
- これから活用していきたいと思います。

## 製造現場の改善活動推進と継続性 (継続的な活動を指揮する次世代リーダー育成のために)

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:15~16:00	8,500円

◆ 製造現場での“問題点の抽出”“重要度策定”から改善活動に必要なコツとヒントをマスターするコースです

### 訓練内容

製造現場における改善活動の継続と推進のためにTQM(Total Quality Management)を基本理念とし、製造現場における改善活動の継続と推進のために必要なコツとヒントについて習得します。また、実習課題を通して業務で活用するための組織体制案の作成、問題点の抽出、重要度策定、継続的な活動の在り方、自社への導入及び定着に必要な知識と技術を習得します。

- ① コース概要
- ② 継続性とは
  - ・ TQM、PDCAサイクルの在り方
- ③ 組織体制
  - ・ 人材育成と改善活動
- ④ 問題点抽出
  - ・ 重要度策定
- ⑤ 活用方法
  - ・ 統計的手法による問題の可視化
- ⑥ 総合実習課題
  - ・ 課題テーマに沿った実習の実施/課題成果物の発表会
- ⑦ まとめ

### 対象者

工場管理、生産管理、物流管理に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う方、またはその候補となる方

### 持参品

筆記用具

### 使用機器

プレゼンテーション機器 等

コース番号	日 程
S018A	2/17(木) ~ 2/18(金)

### 受講者の声

- 部署の問題点がはっきりわかるようになりました。
- 現在実施している品質改善会議の進め方の参考になりました。
- 異業種の方の現状を知ることができ、他社との作業のあり方、仕方の違いや意見は参考になりました。
- 問題に対して集中的に考えることができ、整理することができました。
- PDCAサイクル、親和図など改善以外にも使える手法を覚えることができました。

### Topics

TQM・PDCAサイクルを基本とした実習を中心に行い、“改善活動推進と継続的改善”を行う力を身につけます。

## バリューエンジニアリング(VE)実践と業務 (目的思考による製品企画のアイデアのために)

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:15~16:00	8,500円

◆ 受講者の製造現場での実際の工程をテーマとした演習を行い、実務で活用できる資料を作成するコースです

### 訓練内容

製造業における価値の流れの効率化・最適化の把握方法について実習を通じて習得し、それらを用いた問題発見、対策案のグループ討議を通じて総合的な技法と観点を習得します。

- ① コース概要
- ② VEについて
  - ・ VEとは何か? VEの必要性について
  - ・ VEと併せてVAの違いについて習得する
- ③ 製造現場のVE
  - ・ 製造現場におけるVEについて、及び物流現場におけるVEについて
- ④ VEの実務
  - ・ VEの実務の実際とVEの活かし方
- ⑤ VEでわかること
  - ・ VEで分かる事、解決の糸口
- ⑥ VEの活用
  - ・ 製造現場に於ける日常管理へのVE活用について
- ⑦ VEの実務
  - ・ ポカヨケ・ヒューマンエラー撲滅
- ⑧ 総合実習
  - ・ V E (設計・開発・加工・組立・検査)の課題設定・目標の明確化
  - ・ 機能定義と構造化、機能価値の程度の策定
  - ・ 課題解決策の提起と評価、評価結果に於ける再検討、提案の確定
  - ・ 発表・討議・講評
- ⑨ まとめ

### 対象者

工場管理、生産・品質管理、物流管理、情報等に従事し、指導的・中核的な役割を担う方、またはその候補となる方

### 持参品

筆記用具、定規(15~20cm程度)

### 使用機器

プレゼンテーション機器 等

コース番号	日 程
S019A	11/1(月) ~ 11/2(火)

### 受講者の声

- 関係ないと思っていた事例が深く掘り下げると実はつながるという事が分かりました。
- 原価低減の目標達成に役立ちそうです。
- 実習を通して考え方や手順の理解を深めることができました。

### Topics

受講者の実際の実務で使用されている製品等をテーマとした総合演習を行い、受講後の実務で活用できる資料の作成を行います。

## バリューストリーム・マップによる生産活動の可視化技術 (流れのあるムダのない現場づくりへ)

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	3日	18時間	9:15~16:00	12,000円

### ◆製造現場の工程のムダ排除に向けた手法をマスターするコースです

#### 訓練内容

バリューストリーム・マップ(工程と物、情報の流れの全体図)を作成し、付加価値を生み出している活動工程と、そうでない活動工程を可視化、さらにあるべき姿の図と比較し、改善活動への糸口に繋がります。

- ① コース概要
- ② 流れ図の概要
  - ・概要と効果、描く目的を知る
  - ・現状の発表会
- ③ 流れ図の作成
  - ・描く目的を決める
  - ・モノや情報の流れ
  - ・描く対象を選ぶ
- ④ 現状の流れ図
  - ・現状の流れ図の目的
  - ・問題点の指摘
  - ・改善につなげる為の視点
- ⑤ 将来の流れ図
  - ・将来の流れ図の目的
  - ・いろいろな活用、事例紹介
  - ・将来の流れ図を実現する為には
- ⑥ 総合実習課題
  - ・課題テーマに沿った実習の実施
  - ・課題成果物の発表会
- ⑦ まとめ

#### 対象者

工場管理、生産管理、物流管理に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う方、またはその候補となる方

#### 持参品

筆記用具、定規(15~20cm程度)

#### 使用機器

プレゼンテーション機器 等

コース番号	日 程
S020A	12/1(水) ~ 12/3(金)

#### 受講者の声

- 今まで見ていなかった部分を見るきっかけになりました。
- 今後、設備投資を行う際に有効に進められるよう活かしていきたい。
- VSMと言うものをよりよく理解することができました。
- 全工程を深く知り、改善の役に立つと思います。
- 常に「見える化」の手法に悩んでいたので役に立ちました。

#### Topics

総合実習課題では、実際の受講者の工程を各自題材として行います。実際に現状図とあるべき姿を作成し、これらから工程のムダを排除し、リードタイム短縮や中間在庫を削減するための手法を実践的に習得します。

## 生産システムの智能化(AI)による効果的現場活用 (日常の加工・処理データを収集し智能化による活用を目指して)

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:15~16:00	8,500円

### ◆受講者の製造現場での設備や作業の問題について洗い出し、解決に向けた計画書を作成するコースです

#### 訓練内容

生産工程の最適化・効率化を目指して、生産システムを構成する機械の要素・構造・機能に対して仕組みと利点を理解し、関連する技術の情報と知識を総合して、智能化(AI)された生産システムの活用方法を習得します。

- ① コース概要
- ② 生産システムの智能化
  - ・これまでの智能化の技術
  - ・これからの智能化
  - ・整理/留意点
- ③ 智能化の適応
  - ・融合型センサによる設備の智能化とデータ活用
  - ・ハードウェアシステム
  - ・ソフトウェアシステム
  - ・身近にある智能化
- ④ データベースの活用
  - ・生産現場におけるデータ、加工データ、実時間、設定値ほか
  - ・データベースの構築
  - ・IoT活用について
- ⑤ 産業革命について
  - ・これまでの産業革命
  - ・今後の産業革命(インダストリー#)
- ⑥ 智能化の活用実習
  - ・智能化適応(設計・開発・組立・検査)の明確化
  - ・問題に対するAIを活用した解決案
  - ・解決案を実施する実行計画書素案の作成
  - ・発表
  - ・講評
- ⑦ まとめ

#### 対象者

生産技術、工場管理、生産管理、物流管理に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う方、またはその候補となる方

#### 持参品

筆記用具

#### 使用機器

プレゼンテーション機器 等

コース番号	日 程
S022A	10/27(水) ~ 10/28(木)

#### 受講者の声

- AIの活用を視野に入れていこうと思いました。
- AIとIoTの違いが分かりました。
- 生産管理の新しい方式が勉強になりました。
- 他社での困りごとを知ることができました。
- 実務に活かせると思います。

#### Topics

**情報化技術を活用した生産性向上へ!**  
設備や作業の問題点の洗い出し→加工・処理データを収集→AIの活用と解決に向けた計画書作成(例)身近なデータによる回帰モデルへの予測に機械学習を活用する

## 製造業におけるリスクマネジメントシステム構築技術 (製品・製造・工場管理のリスク実践分析手法とリスク低減)

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:15~16:00	14,500円

### ◆ リスクを低減する具体的な手法についてケーススタディをとおしてマスターするコースです

#### 訓練内容

新製品開発や製品システム及び工場管理のためのリスクマネジメントシステムの構築を目指して、リスクを低減する実践的かつ具体的な手法についてケーススタディを通じて習得します。

- ① コース概要
- ② リスクの見方、分析の指針
  - ・危険源の特定の方法 ・リスク分析に必要なパラメータ
  - ・リスクアセスメントの方法
- ③ マネジメントシステムにおけるリスク分析の実施例
  - ・品質の分野FMEAとFTA ・環境、安全、医療、情報、食品、機械分野
  - ・CEマーキング、その分野 ・リスクマネジメントシステム
- ④ マネジメントシステムの構築と統合
  - ・PDCAサイクルと継続的改善
  - ・マネジメントシステムの構築方法とリスク低減の具体例
  - ・リスク低減のポイント ・統合マネジメントシステムの構築方法
- ⑤ ケーススタディとディスカッション
  - ・リスクアセスメントの方法
  - ・リスクを低減するためのマネジメントプログラムの作成 ・リスク管理手順書の作成
- ⑥ まとめ

#### 対象者

製品の企画・開発・設計関連業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う方、またはその候補となる方

#### 持参品

筆記用具

#### 使用機器

プレゼンテーション機器 等

コース番号	日 程
S023A	11/4(木) ~ 11/5(金)

#### 受講者の声

- リスクとは、リスク源と起こりやすさとわかりました。
- 目的に近づくためのやり方、あり方に整理をつけられそうです。
- 開発設計時のリスクマネジメントに活用していきます。
- 新たな手法や考え方が身につきました。

#### Topics

**リスク低減の手法を学ばなら  
このコースです！**

## 生産性向上のための現場管理者の作業指示技法

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	3日	18時間	9:15~16:00	22,000円

### ◆ 人材育成に必要な効果的表現をマスターするコースです

#### 訓練内容

生産現場における現場力強化及び技能継承をめざして、技能高度化、故障対応・予防に向けた生産性や競争力を向上させるための作業指示や指導技法等を習得します。

- ① コース概要
- ② 生産現場における管理者の使命
  - ・リーダーシップと目標値の達成、目標達成の究極の目的
  - ・実習 発表「職場での私の目標達成」
- ③ 生産現場における管理者の業務
  - ・生産現場における現場管理者の役割と指示のあり方
  - ・現場管理者に必要な四つの業務、三つの能力 ・発表「製造現場の指示と配慮 私のノウハウ」
- ④ 生産現場で発生する問題への対処
  - ・問題とは、発散思考と収束思考、創造力の発揮、問題解決手法
  - ・実習 手法を自分の現場の問題に当てはめる
- ⑤ 現場指示に必要な事項
  - ・理性と感情、感情の元を理解する ・実習 職場での思い遣り「昨日のあの指示を変えてみる」
- ⑥ 職場改善の実行計画を作成する
  - ・実行計画書の要点 ・実習例「模擬ラインによる計画生産実施率100%の計画」
  - ・実習 発表「明日からの職場での実行計画」
- ⑦ まとめ

#### 対象者

製造に従事または製造監督に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う方、またはその候補となる方

#### 持参品

筆記用具

#### 使用機器

プレゼンテーション機器 等

コース番号	日 程
S025A	10/25(月)~10/27(水)

#### 受講者の声

- 監督者になったばかりでどのようにしていけば良いか迷っていたので、今回のセミナーで軸を形成できた。
- リーダーの使命・特性・分類を学べ。管理者としての役割・責任・指示方法を学べました。
- 挨拶やコミュニケーションの重要性を学べました。
- 自分の分からないこと(苦手な)ことを理論的に部下に伝えることができると思いました。

# よくあるご質問 Q&A

◆受講申し込みの前に、必ずご一読くださいますようお願いいたします。

**Q1 受講申し込みはどのようにしたらよいですか？**

**A.** 「受講申込書」に必要事項をご記入のうえ、FAX、メール、郵送又は持参にてお申し込みください。

**Q2 申し込む場合の条件はありますか？**

**A.** 各コースに関する基本的知識を有する方としております。ただし、コースによってはより詳細な受講条件を設定している場合があります。  
セミナーガイド・ホームページでご確認ください。

**Q3 受講申込書になぜ生年月日を記入する必要があるのですか？**

**A.** 所定の要件を満たした方に訓練の修了証書を発行しており、そこに記載するためです。

**Q4 コースの詳しい概要について教えてもらえませんか？**

**A.** 当センターのホームページをご覧ください。  
更に詳しい内容についてご質問がありましたら、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

**Q5 希望するコースが定員に達している場合、どのようにしたらよいですか？**

**A.** 「キャンセル待ち」としてお申し込みを受け付けることができます。その場合、空きがでた時点で順次ご連絡いたします。  
当センターのホームページにて、受講申込状況（空席状況）をご確認いただけます。

**Q6 申し込んだコースが中止・変更になることはありますか？**

**A.** 開講日の約1カ月前の時点で、受講申込が一定の人数に達していない場合は、中止または日程変更させていただきます。  
また、講師の都合等やむを得ない事情により、開催直前に中止または日程変更することもありますので、あらかじめご了承ください。  
なお、中止したコースの受講料をお支払い済の場合には、返金させていただきます。

**Q7 申し込んだ後で、受講者を変更することはできますか？**

**A.** 受講者の変更は、開講日当日まで対応できます。  
受講者の変更をされる場合は、FAX、電話、メールでご連絡をお願いいたします。  
なお、開講日当日の変更は、セミナー会場にあります担当講師までお申し出ください。

**Q8 申し込んだコースをキャンセルしたいのですがどのようにしたらよいですか？**

**A.** 受講申込みしているコースをキャンセル（取消）する場合は、当該コース開講日の **15 日前（土日祝日に当たる場合は、その前の平日）までに必ずご連絡ください。**  
**この日を過ぎたキャンセルや手続きがなされない場合は、受講料を全額ご負担いただくこととなりますのでご注意ください。**受講のキャンセルをされる場合には、FAX でご連絡をお願いいたします。  
なお、開講日の15日前までにご連絡いただいたキャンセルにおいて、既に受講料を振り込まれている場合は、受講料を返金いたします。

**Q9 受講料の支払い時期は？**

**A.** **受講受付の後、請求書をお送りします。**  
**コース開始日の15日前（土日祝日に当たる場合は、その前の平日）までにお振込みください。**  
銀行振込手数料は、お客様ご負担になります。また、お振込みいただいた後「受講票」を郵送しますので、セミナー当日ご持参ください。

## Q10 領収書は発行してもらえますか？

A. 領収書につきまして、二重発行などのトラブル防止の為、原則として発行しておりません。  
振込銀行でお支払い時に、「ご利用明細書」が発行されますので（ネットバンキングご利用の場合も振込決済が完了した画面をプリントアウトして）、そちらを領収書としてお使いください。

## Q11 申し込んだコースを欠席する場合はどのようにしたらよいですか？

A. お電話またはFAXでご連絡ください。

## Q12 受講する際の服装・持ち物はどのようにすればよいですか？

A. 服装について特に決まりはございませんが、節度ある服装でお願いします。「持参品」として長袖作業服等が必要となるコースがありますので、セミナーガイド・ホームページ・受講票でご確認ください。

## Q13 セミナー会場（研修室）への案内はありますか？

A. 当センターの本館1階の案内版、構内掲示板でご確認いただけます。  
また、事前にお送りしている「受講票」に記載してあります。  
（都合により、受講票でお知らせした研修室から変更になることもありますので、必ずご確認ください。）

## Q14 作業服が必要なコースですが、着替え等はできますか？

A. 作業服への着替えが必要なコースについては、ロッカールームをご利用いただけます。  
セミナー会場で担当講師がご案内します。

## Q15 駐車場はありますか？

A. 当センターには駐車場（セミナー用の駐車場 P.86 を参照ください）がありご利用いただけますが、駐車スペースを確保するものではありません。ご利用できない場合もありますのでご了承ください。  
また、駐車場での事故等については、当センターでは責任を負いかねます。

## Q16 昼食をとれる場所はありますか？

A. 食堂はありませんが、別館1階に訓練生ホールがあり自由にご持参いただいたものを飲食できます。  
自動販売機・電子レンジがありますのでぜひご利用ください。また訓練生ホールにおいて、宅配業者によるお弁当の販売を行っています。8：30～9：10までに食券を購入していただき、12：15～12：30までに食券とお引換ください。業者都合により急遽販売を休止する場合がありますので、その際はご容赦ください。

## Q17 宿泊施設はありますか？

A. 当センターには宿泊施設がありません。浦和駅周辺等の宿泊施設に手配をお願いします。

## Q18 セミナーの修了証書の交付条件はありますか？

A. 修了証書は、出席時間が12時間以上かつ訓練時間の80%以上を満たしている場合に交付します。  
なお、修了証書の再発行はできませんのでご了承ください。

## Q19 セミナー会場で録音および撮影してもよいですか？

A. 受講中の写真・動画の撮影、録音等は原則お断りしておりますので、ご了承ください。

お問い合わせ先

ポリテクセンター埼玉 訓練第二課

TEL 048-882-4003 FAX 048-882-4070

<https://www3.jeed.go.jp/saitama/poly/>

# オーダーメイド型セミナーのご案内

## ご要望に応じた能力開発セミナー

ポリテクセンター埼玉では、公開中の能力開発セミナーの他、企業・事業主団体様のご要望に応じたオーダーメイド型の能力開発セミナーを承っています。

企業・事業主団体様と当センターで、人材育成上の課題、カリキュラム内容、日程などをご相談しながら、よりカスタマイズされたセミナーを計画・実施いたします。

公開中の  
セミナーでは  
日程が合わない

自社の実情や  
目的にあった  
研修を実施したい

自社では講師・機器  
場所が不足して  
研修が行えない

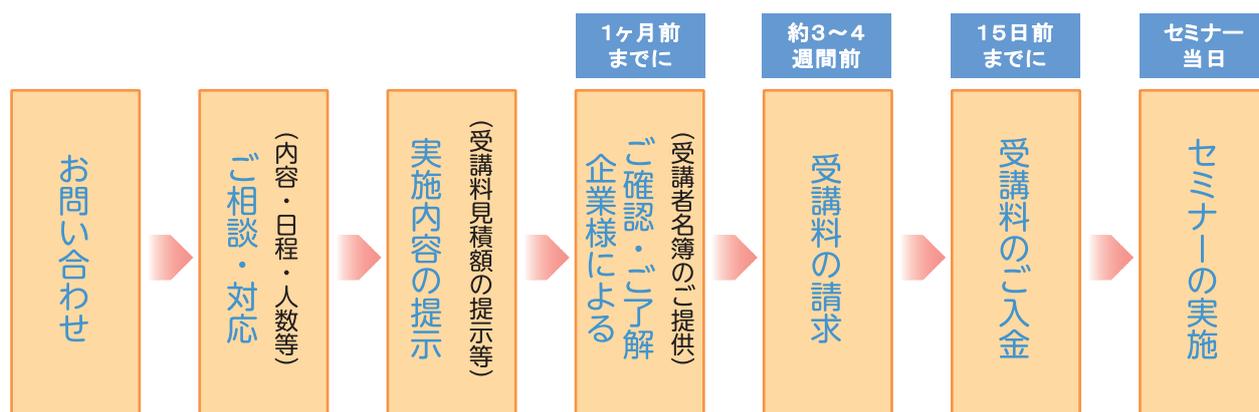
このような課題を抱えている皆さまをサポートいたします！

### オーダーメイド型セミナー計画のポイント

- ▶ セミナーガイドでご案内しているセミナーは、オーダーメイド型セミナーとして計画できます。
- ▶ 会場は、原則として当センターとなりますが、実施内容により出張セミナーも対応します。
- ▶ 定員5名以上ですが、ご相談ください。(協会社、系列会社、個人グループ等でも可能です。)
- ▶ 1セミナー12時間以上(1日6時間として2日以上)です。(連続しない日程でも可能です。)
- ▶ 受講料は、教材及び当センターが定める諸経費を含めてご提示します。

※ ご相談の内容・日程など、ご要望に添えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

### ご相談からセミナー実施までの流れ



- ▶ 受講料見積額提示後、受講者人数を変更する場合、お一人当たりの受講料は変わります。
- ▶ 受講者名簿をご提示いただいた後、受講者人数の変更はお受けできません。請求受講料を全額ご負担いただくこととなりますので、あらかじめご了承ください。

ポリテクセンター埼玉 訓練第二課

お問い合わせ先 TEL 048-882-4003 FAX 048-882-4070

<https://www3.jeed.go.jp/saitama/poly/>

# オーダーメイド型セミナーFAX問い合わせ用紙

送信先 FAX 番号 048-882-4070

埼玉職業能力開発促進センター（ポリテクセンター埼玉） 訓練第二課 あて

〒336-0931 さいたま市緑区原山 2-18-8 TEL.048-882-4003

## オーダーメイド型セミナー お問い合わせFAX送信状

会社名			業種	
所在地	〒 -			
ご担当者 及び 連絡先	ご氏名		所属部署 役職	
	TEL		FAX	
	E-mail			
お問い合わせ 内容	セミナー希望内容（分野・日程・受講人数など）			

○独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」（平成15年法律 第59号）を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。

当機構では、必要な個人情報を、利用目的の範囲内で利用させていただきます。

○ご記入いただいた個人情報は、能力開発セミナーの受講に関する事務処理及び業務統計、当機構の能力開発セミナーや関連する各種セミナー・イベント等のご案内に利用させていただきます。

# 施設利用サービスのご案内

企業また事業主団体等の皆さまが人材育成を目的とされる社員研修、講演会、講習会等に当センターの研修室・実習場等をご利用いただけます。

また、地域社会の発展に寄与する目的としてのイベントや地域住民の皆さまの行う会議等にもご利用いただけます。

- ① 企業・事業主団体様が行う社員教育、技能・技術研修等
- ② 各種検定やその準備講習
- ③ その他、公共施設として適切な目的として認められたイベント等や会議

## 利用可能な主な施設

- 会議室（定員15名）



- 大教室（定員50名）

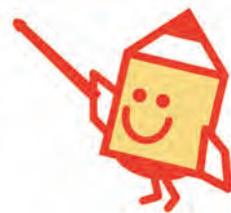


- 視聴覚教室（定員10名）



※主な施設以外に機械加工実習場、多目的実習場等がご利用になれます。

※詳細はお問い合わせください。



## 利用できる日

- ・ 12月29日～1月3日を除く毎日（土日、祝日を含む）  
ただし、当センターが使用しない日に限ります。あらかじめ空き状態をご確認ください。

## 利用時間

- ・ 施設の利用時間は、平日は午前9時から午後8時まで、土日祝日は午前9時から午後5時までとなります。なお、利用時間については準備や片付け時間も含まれます。
- ・ 1時間単位でのご利用となります。
- ・ 連続日程での利用は1週間を限度とさせていただきます。

## 主な施設の利用料

### ■人材育成等ご利用の場合

(1時間あたり：円)

研修室名	面積 (㎡)	定員 (人)	5月・10月	6月～9月	11月～4月	主な付属設備
会議室	129.00	15	100	500	600	プロジェクタ、マイク
大教室	221.48	50	250	500	450	プロジェクタ、マイク
視聴覚教室	107.88	10	100	200	150	プロジェクタ、マイク

### ■地域住民の皆さまの行う会議等ご利用される場合

(1時間あたり：円)

研修室名	面積 (㎡)	定員 (人)	5月・10月	6月～9月	11月～4月	主な付属設備
会議室	129.00	15	200	1,000	1,200	プロジェクタ、マイク
大教室	221.48	50	500	1,000	900	プロジェクタ、マイク
視聴覚教室	107.88	10	200	400	300	プロジェクタ、マイク

※大教室については、テーブル3人掛けの場合の定員です。

- ・上表のうち、6月～9月、及び11月～4月の料金には冷暖房費を含んでおります。
- ・土日祝日にご利用いただく場合は、上表の利用料の外に警備員料金が必要となります。警備員料金は1時間当たり1,502円(税込)となります。
- ・利用料及び警備員料金には、消費税及び地方消費税を含んでおります。
- ・警備員料金は、令和3年2月1日現在の料金です。料金見直しにより変更になる場合があります。

## 利用手続き

- ① 当センター施設担当者に電話(問い合わせ先 048-882-4003)でご相談ください。
- ② 施設利用日、使用目的等を確認した後、仮予約といたします。  
なお、仮予約受付は利用日の2か月前からの受付となります。
- ③ 仮予約後、所定の「施設設備使用申請書」を提出していただきます。
- ④ 申請書の審査後、承認の場合は「施設設備使用承諾書」及び「請求書」を発行します。
- ⑤ 原則として利用日の15日前までに利用料を当センター指定口座にお振り込みください。

## 注意点

- ① 当センターでは、利用者様が主催する研修等の受付等の業務は致しかねますのでご了承ください。
- ② 承認された使用目的以外では使用はできません。
- ③ 施設の利用にあたっては、火気、臭気、騒音等や作業安全面に十分注意を払ってください。
- ④ 利用者が故意、または重大過失により当センターの設備等を破損、または消失した場合はその損害を賠償していただきます。
- ⑤ ご利用中の一切の事故については、当センターでは責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- ⑥ 勧誘・営業活動等のための利用はできません。
- ⑦ ご利用後は掲示物・貼り紙・搬入物品等の撤去を行い、清掃、片付けをして現状復帰をお願いします。
- ⑧ 平日は、駐車場のご利用はできませんので、交通機関をご利用ください。
- ⑨ その他、ご不明な点はお問い合わせください。

## その他

- ・食堂はありませんが、別館1階に訓練生ホールがありご持参いただいたものを飲食できます。

ポリテクセンター埼玉 訓練第二課

お問い合わせ先 TEL 048-882-4003 FAX 048-882-4070

<https://www3.jeed.go.jp/saitama/poly/>



# 生産性向上支援訓練のご案内



企業や事業主団体の生産性を向上させるための職業訓練です！

## ①訓練を受講して生産性アップ！

生産性向上のために必要な課題解決や現場力強化につながる様々なカリキュラムをご用意しています。カリキュラムは、課題・ニーズにあわせて内容を**カスタマイズ**できます。

## ②オーダーメイドで訓練を実施！

日程や訓練会場などのご要望にあわせて、生産性向上人材育成支援センターが訓練を**コーディネート**します。

訓練時間は6～30時間の範囲内で、ご要望にあわせて設定できます。

## ③受講しやすい料金設定！

受講料は1人あたり**3,300円～6,600円**（税込）



カスタマイズOK  
実践的カリキュラム!!  
幅広い業種に対応!!  
全**116**コース!!

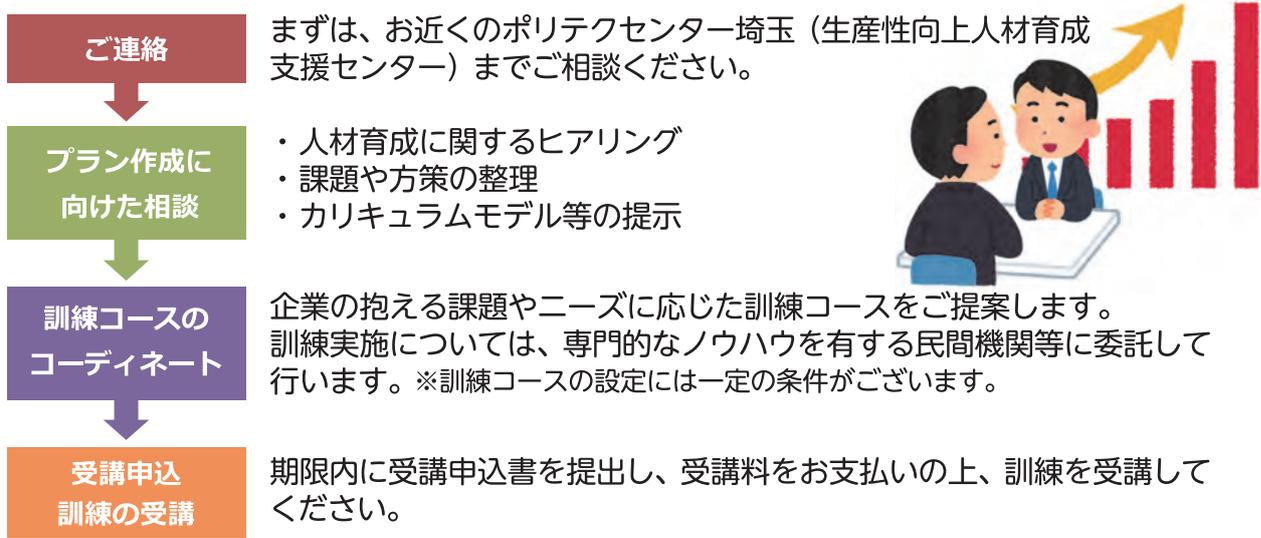
自社の会議室  
での訓練もOK!!  
ご要望にあわせて  
会場設定可能!!

効果的に  
スキルを習得!!  
オーダーメイド型  
出張型訓練!!

活用しやすい  
受講料!!

<訓練時間>	※1人あたり
6～11時間で	<b>3,300円</b>
12～18時間で	<b>5,500円</b>
19～30時間で	<b>6,600円</b> (税込)

## ご利用までの流れ



ポリテクセンター埼玉  
生産性向上人材育成支援センター

TEL: 048-813-1081 FAX: 048-882-4070

URL: [https://www3.jeed.go.jp/saitama/poly/company\\_support/seisansei/kunren\\_seminar.html](https://www3.jeed.go.jp/saitama/poly/company_support/seisansei/kunren_seminar.html)

ポリテク埼玉 生産性



年間  
月別  
日程表

体系図

機械系

機械系・溶接

電気・電子系

共通

Q & A

各種案内

構内案内

受講申込書

## 主な生産性向上支援訓練コース一覧（抜粋）

◆生産・業務プロセスの改善		
生産管理	生産・開発計画	ものづくりの仕事のしくみと生産性向上 <b>人気コース</b>
		生産性分析と向上
		生産現場の問題解決
	工程管理	生産性向上のための課題とラインバランシング
		生産計画と工程管理
原価管理	原価管理とコストダウン	
製品出荷・在庫管理	在庫管理システムの導入	
品質保証・管理	品質保証・管理手法	品質管理基本
		品質管理実践
バックオフィス	クラウド・IoT	クラウド活用入門
		IoT活用によるビジネス展開
		テレワークを活用した業務効率化
	システム導入 <b>New!</b>	ITツールを活用した業務改善
		データ活用で進める業務連携
	新技術活用 <b>New!</b>	IT新技術による業務改善
		AI（人工知能）活用
		ビッグデータ活用
財務管理	RPAを活用した業務効率化・コスト削減	
企業価値を上げるための財務管理		
◆横断的課題		
組織マネジメント	経営戦略	IoTを活用したビジネスモデル
	リスクマネジメント	事故をなくす安全衛生活動 <b>人気コース</b>
		災害時のリスク管理と事業継続計画
	組織力強化	現場社員のための組織行動力向上
		業務効率向上のための時間管理
		企画力向上のための論理的思考法
		成果を上げる業務改善
		組織力強化のための管理
職場のリーダーに求められる統率力の向上 <b>人気コース</b>		
管理者のための問題解決力向上		
◆売上げ増加		
営業・販売	顧客拡大	提案型営業手法
		ビジネス現場における交渉力
		提案型営業実践
顧客情報	顧客分析手法	
マーケティング	顧客拡大	マーケット情報とマーケティング計画（調査編）
企画・価格	サービス・製品開発	インターネットマーケティングの活用
プロモーション	販売促進	新サービス・商品開発の基本プロセス
		チャンスをつかむインターネットビジネス

※他にもコースがございますのでお気軽にお問合せください。

### 全国実績（'20年度）

受講者数 **28,106** 人

利用した企業数 **9,103** 社  
※延べ実績

受講者評価 **98.7** %  
(業務への役立ち度)

### ポリテクセンター埼玉実績（'20年度）

受講者数 **1,304** 人

利用した企業数 **298** 社  
※延べ実績

受講者評価 **98.5** %  
(業務への役立ち度)

### 受講者の声



#### ◆生産管理◆「生産現場の問題解決」— 受講者アンケートより抜粋 —

- ・現場の問題解決の手順が理解でき、今後、具体的に取り組んでいけそうです。
- ・例題が多くグループによる意見、まとめ、判断ができて大変よかったです。
- ・他部署の方と話すことで色々な考え方があることに刺激を受けました。

#### ◆組織マネジメント◆「業務効率向上のための時間管理」— 受講者アンケートより抜粋 —

- ・業務のタスク化、見える化などの図解と講師の解説がわかりやすかったです。
- ・生産性、業務効率に対する自分の考え方や方向性の確認ができました。
- ・同じ業務の人達と改めて知識共有ができたのでよかったです。

#### ◆営業・販売◆「提案型営業手法」— 受講者アンケートより抜粋 —

- ・質問の手法にも多様なものがあり、業務に役立つと感じました。
- ・自分に何ができていて、何が足りないのかが見えてきました。
- ・サービスマンの仕事においても営業的なスキルが必要であり、習得したいと思います。

# New 生産性向上支援訓練のご案内 企業戦略のカギを握る中堅・ベテラン世代向け



安定した事業の継続と従業員の雇用を守るためには、従業員を育成して企業の労働生産性を高めることが不可欠です。

特に、**変化に対応できる能力、技能やノウハウを教える能力**を、企業を支える中堅・ベテラン従業員に身に付けてもらうことが重要な課題となっています。

また、2021年4月から「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」の一部が改正され、**70歳までの就業機会の確保が努力義務**になりました。

そのような課題解決の一助になるよう、これからの社会において“**企業戦略のカギを握る**”中堅・ベテラン世代の活躍を支援するセミナーのご案内です。

是非この機会に従業員の更なるスキルアップを図り、企業の成長力を高めませんか？

◎ “**従業員のモチベーションの維持**” “**後輩への技能継承**” など、企業の定年延長や継続雇用等における課題の解決に効果的なカリキュラムをご用意しています。

分野	コース名
<b>役割の変化への対応</b>  <b>モチベーションの維持</b> ☆今後のキャリアについて考えさせたい。 ☆組織の中で求められている役割を理解させたい。  <b>安心・安全な職場環境の構築</b> ☆これまで培った経験と企業における安全衛生活動を融合させたい。	<b>中堅・ベテラン従業員のためのキャリア形成</b> ↳ <b>チーム力の強化と中堅・ベテラン従業員の役割</b> ↳ <b>後輩指導力の向上と中堅・ベテラン従業員の役割</b> ↳ <b>中堅・ベテラン従業員による組織の活性化のための相談技法</b> ↳ <b>SNSを活用した相談・助言・指導</b> ↳ <b>フォロワーシップによる組織力の向上</b>
	<b>経験を活かした職場の安全確保（未然防止編）</b> ↳ <b>経験を活かした職場の安全確保（対策編）</b>
	<b>クラウドを活用したノウハウの蓄積と共有</b> <b>職業能力の整理とノウハウの継承</b> ↳ <b>職業能力の体系化と人材育成の進め方</b>
	<b>経験に基づく営業活動の見える化と継承</b> <b>効果的なOJTを実施するための指導法</b> ↳ <b>ノウハウの継承のための研修講師の育成</b> ↳ <b>作業手順の作成によるノウハウの継承</b>
	<b>後輩への技能継承①</b> ☆継承すべき技能の見える化（テキスト化・マニュアル化・IT化）を図りたい。
	<b>後輩への技能継承②</b> ☆技能継承の指導者に対して「教える」スキルを向上させたい。
	<b>後輩への技能継承③</b> ☆ミドルシニア世代の従業員を講師として、研修会や勉強会を開催したい。
	<b>後輩に気づきを与える安全衛生活動（実施編）</b> ↳ <b>後輩に気づきを与える安全衛生活動（点検編）</b>
	<b>キャリア形成</b>
	<b>受講対象者：45歳以上の従業員の方</b>

ポリテクセンター埼玉  
生産性向上人材育成支援センター

TEL: 048-813-1081 FAX: 048-882-4070

URL: [https://www3.jeed.go.jp/saitama/poly/company\\_support/seisansei/kunren\\_seminar.html](https://www3.jeed.go.jp/saitama/poly/company_support/seisansei/kunren_seminar.html)

ポリテク埼玉 生産性





# 生産性向上支援訓練(IT業務改善)のご案内

## New 従業員のIT力を強化して生産性アップ!



### ①生産性向上支援訓練に、新分野として「IT業務改善」がスタート!

生産性を向上させるための手段として、ITを利活用する上で必要となる

**ネットワーク、データ活用、情報発信、倫理・セキュリティ**に関する知識や

手法を習得します。

※従業員の方の現状に応じて選択いただけるよう、幅広いコースをご用意!



### ②受講料 (1人あたり) 2,200円~4,400円(税込)

※訓練時間は4~30時間の範囲内で設定

### ③1名様から参加可能なオープンコースもあります!

ポリテクセンター埼玉ほか、民間教育機関のPC教室等で実施します。

※実施日等詳細につきましては、HP掲載のリーフレットをご参照いただくか、

または、センターまでお気軽にお問合せください。



## 生産性向上支援訓練(IT業務改善)コース一覧

分野	ねらい	コース名
ネットワーク	ネットワーク活用	ワイヤレス環境に必要となる無線LANとセキュリティ
		社内ネットワークに役立つ管理手法
データ活用	表計算ソフト活用	表計算ソフトを活用した業務改善
		業務に役立つ表計算ソフトの関数活用
		表計算ソフトを活用した効果的なデータの可視化
		効率よく分析するためのデータ集計
		ピボットテーブルを活用したデータ分析
		品質管理に役立つグラフ活用
		表計算ソフトを活用した統計データ解析
		表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化
	データベースソフト活用	大量データ処理に活用するデータベース (基本編)
		大量データ処理に活用するデータベース (応用編)
データベースソフトを活用した高度なデータ処理		
ワープロソフト活用	業務効率を向上させるワープロソフト活用	
情報発信	プレゼンテーションソフト活用	相手に伝わるプレゼン資料作成
	インターネット活用	集客につなげるホームページ作成
倫理・セキュリティ	セキュリティ対策	SNSを活用した情報発信
		脅威情報とセキュリティ対策
		情報漏えいの原因と対応・対策

ポリテクセンター埼玉

生産性向上人材育成支援センター

TEL: 048-813-1081 FAX: 048-882-4070

URL: [https://www3.jeed.go.jp/saitama/poly/company\\_support/seisansei/kunren\\_seminar.html](https://www3.jeed.go.jp/saitama/poly/company_support/seisansei/kunren_seminar.html)

ポリテク埼玉 生産性



# ポリテクセンター埼玉での 新型コロナウイルス感染症対策の取組状況



受付等に透明ビニールシートの設置



受講者間などに透明ビニールシートを設置



昼食場所の増設



受講者及び職員の健康状況チェック（毎日実施）



フェイスシールドの活用



共通接触部の消毒の実施

年間  
月別  
日程表

体系図

機械系

機械系・溶接

電気・電子系

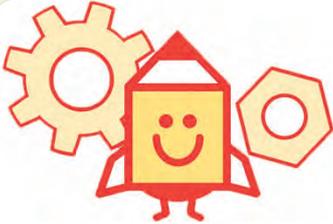
共通

Q & A

各種  
ご案内

構内案内

受講申込書



## 事業主の皆様へ ご協力お願いします。

当センターでは、求職者の方々を対象に6ヶ月間（企業実習つきコースは7ヶ月間）の機械、電気・電子等ものづくり分野に関する職業訓練を実施し、再就職を目指し、より安定した職業生活が送れるよう支援しています。

1

### 採用のお願い

当センターの訓練修了生は、生産現場における即戦力として、採用していただいた企業様から高い評価をいただいています。

現在、在籍中の訓練受講者も、習得した機械、電気・電子等ものづくり分野に関する技能・技術を活かせる職場を求めています。

人材の採用をお考えの企業様、是非この機会にご検討ください。

2

### 企業実習受入れのお願い

企業実習つきコースは（概ね55歳未満）を対象として、約1ヶ月間、企業での実習を取り入れた職業訓練を実施しており、実習生を受入れていただける企業を募集しています。（所定の委託料をお支払いします。）この実習で、採用前に訓練受講者の適性等を見極めることができ、効果的な人材の採用につなげることが可能です。

これからの業界を担う訓練受講者を、一人前の職業人として育てるための企業実習の受け入れ先として、貴社の深いご理解とご協力をぜひお願いします。



#### 【お問い合わせ先】

ポリテクセンター埼玉 訓練第一課

TEL 048-882-4138 FAX 048-882-4166

<https://www3.jeed.go.jp/saitama/poly/>





施設所在地

- |   |  |            |                    |
|---|--|------------|--------------------|
| ① | ポリテクセンター群馬（群馬職業能力開発促進センター）<br>〒370-1213 群馬県高崎市山名町 918<br>TEL.027-347-3905 FAX.027-347-6668               | ポリテク群馬     | <a href="#">検索</a> |
| ② | ポリテクセンター栃木（栃木職業能力開発促進センター）<br>〒320-0072 栃木県宇都宮市若草 1-4-23<br>TEL.028-621-0581 FAX.028-622-9498            | ポリテク栃木     | <a href="#">検索</a> |
| ③ | ポリテクセンター茨城（茨城職業能力開発促進センター）<br>〒303-0033 茨城県常総市水海道高野町 591<br>TEL.0297-22-8819 FAX.0297-22-8822            | ポリテク茨城     | <a href="#">検索</a> |
| ④ | ポリテクセンター埼玉（埼玉職業能力開発促進センター）<br>〒336-0931 埼玉県さいたま市緑区原山 2-18-8<br>TEL.048-882-4003 FAX.048-882-4070         | ポリテク埼玉     | <a href="#">検索</a> |
| ⑤ | ポリテクセンター山梨（山梨職業能力開発促進センター）<br>〒400-0854 山梨県甲府市中小河原町 403-1<br>TEL.055-242-3066 FAX.055-242-3068           | ポリテク山梨     | <a href="#">検索</a> |
| ⑥ | ポリテクセンター関東（関東職業能力開発促進センター）<br>〒241-0824 神奈川県横浜市旭区南希望が丘 78<br>TEL.045-391-2819 FAX.045-391-9699           | ポリテク関東     | <a href="#">検索</a> |
| ⑦ | 高度ポリテクセンター（千葉職業能力開発促進センター高度訓練センター）<br>〒261-0014 千葉県千葉市美浜区若葉 3-1-2<br>TEL.043-296-2582 FAX.043-296-2585   | 高度ポリテク     | <a href="#">検索</a> |
| ⑧ | ポリテクセンター千葉（千葉職業能力開発促進センター）<br>〒263-0004 千葉県千葉市稲毛区六方町 274<br>TEL.043-422-4622 FAX.043-304-2132            | ポリテク千葉     | <a href="#">検索</a> |
| ⑨ | ポリテクセンター君津（千葉職業能力開発促進センター君津訓練センター）<br>〒299-1142 千葉県君津市坂田 428<br>TEL.0439-57-6313 FAX.0439-57-6386        | ポリテク君津     | <a href="#">検索</a> |
| 1 | 関東職業能力開発大学校（関東ポリテクカレッジ）<br>〒323-0813 栃木県小山市横倉 612-1<br>TEL.0285-31-1733 FAX.0285-27-0240                 | 関東ポリテクカレッジ | <a href="#">検索</a> |
| 2 | 千葉職業能力開発短期大学校千葉校（ポリテクカレッジ千葉 千葉キャンパス）<br>〒260-0025 千葉県千葉市中央区問屋町 2-25<br>TEL.043-242-4193 FAX.043-248-5072 | ポリテクカレッジ千葉 | <a href="#">検索</a> |
| 3 | 千葉職業能力開発短期大学校成田校（ポリテクカレッジ千葉 成田キャンパス）<br>〒286-0045 千葉県成田市並木町 221-20<br>TEL.0476-22-4351 FAX.0476-22-4347  | ポリテクカレッジ千葉 | <a href="#">検索</a> |
| 4 | 港湾職業能力開発短期大学校横浜校（港湾カレッジ）<br>〒231-0811 神奈川県横浜市中区本牧ふ頭 1<br>TEL.045-621-5932 FAX.045-623-7171               | 港湾カレッジ     | <a href="#">検索</a> |

# 高度ポリテクセンターのご案内

さらにワンランク上の  
スキルアップ  
を目指して!



- 年間、約700コースの豊富なカリキュラム！
- 経験豊富な講師陣による実践的な研修内容！
- 全国から約8,000人/年のお客様がご利用！



## 18の技術分野

詳しくは、ホームページ又は  
当センターのコースガイドをご覧ください

機械加工  
塑性加工・金型  
射出成形・金型  
接合加工  
測定・検査・計測  
材料・表面  
機械保全

機械設計  
自動化  
環境・安全  
現場運営・改善

電気設備  
自動制御  
電子回路  
パワーエレクトロニクス  
画像・信号処理  
組込み・ICT  
通信システム

### 人気コースの一例

- 公差設計・解析技術
- 安全設計とリスクアセスメント
- 見て触って理解する金型技術
- 5軸制御マシニングセンタ加工技術
- 生産現場の機械保全技術
- 自動制御の理論と実際
- センサを活用したIoTアプリケーション開発技術
- マシンビジョン画像処理システムのためのライティング技術

高度ポリテクセンター事業課まで、お気軽にお問い合わせください。

千葉県千葉市美浜区若葉3-1-2 TEL : 043-296-2582

<https://www.apc.jeed.go.jp/> 高度ポリテクセンターTwitter ⇒

# 能力開発セミナー詳細情報の検索方法

能力開発セミナーのコースの詳細情報は、各施設のホームページにて確認できます。

ここでは、全国から収集した在職者向けの情報から気になるコースの内容や実施時期、会場をまとめて検索することができます。当機構で実施している能力開発コースを“**コース名**”、“**能力開発分野**”“**都道府県**”で検索でき、必要な能力開発コースの“**コース概要**”“**日程**”“**受講料**”“**実施している機関の概要**”などの情報を調べることができます。

※各コースの詳細、お申込については実施機関にお問い合わせください。

[https://www.tetras.uitec.jeed.go.jp/noukai/wp5/wp5\\_1.php](https://www.tetras.uitec.jeed.go.jp/noukai/wp5/wp5_1.php)

能力開発コース情報

検索



QRコード

コース名 (キーワード検索)

入力:  あなたが受講したいと思っている専門分野、技能等の用語を入力しても検索できます。  
例) 金型、CAE、マイコン、画像処理、電気、建築、システム開発、...

全角にて入力して下さい。

コースの開催地 (2種類の検索方法があります)

方法その1  
都道府県別 選択 (複数選択できます。)

<input type="checkbox"/> 九州	<input type="checkbox"/> 中国	<input type="checkbox"/> 近畿	<input type="checkbox"/> 北陸	<input type="checkbox"/> 関東
<input type="checkbox"/> 佐賀	<input type="checkbox"/> 福岡	<input type="checkbox"/> 島根	<input type="checkbox"/> 鳥取	<input type="checkbox"/> 滋賀
<input type="checkbox"/> 石川	<input type="checkbox"/> 新潟	<input type="checkbox"/> 群馬	<input type="checkbox"/> 栃木	
<input type="checkbox"/> 長崎	<input type="checkbox"/> 大分	<input type="checkbox"/> 広島	<input type="checkbox"/> 岡山	<input type="checkbox"/> 京都
<input type="checkbox"/> 福井	<input type="checkbox"/> 富山	<input type="checkbox"/> 埼玉	<input type="checkbox"/> 茨城	
<input type="checkbox"/> 熊本	<input type="checkbox"/> 宮崎	<input type="checkbox"/> 山口	<input type="checkbox"/> 兵庫	<input type="checkbox"/> 中部
<input type="checkbox"/> 東京	<input type="checkbox"/> 千葉			
<input type="checkbox"/> 鹿児島	<input type="checkbox"/> 四国	<input type="checkbox"/> 大阪	<input type="checkbox"/> 長野	<input type="checkbox"/> 山梨
<input type="checkbox"/> 神奈川				
<input type="checkbox"/> 沖縄	<input type="checkbox"/> 愛媛	<input type="checkbox"/> 香川	<input type="checkbox"/> 奈良	<input type="checkbox"/> 岐阜
	<input type="checkbox"/> 静岡			
	<input type="checkbox"/> 高知	<input type="checkbox"/> 徳島	<input type="checkbox"/> 和歌山	<input type="checkbox"/> 三重
			<input type="checkbox"/> 愛知	

方法その2  
区市町村名入力:  都道府県別選択にない市区町名などを入力してください。  
例) 札幌、仙台、横浜、川崎、名古屋、神戸、北九州、新宿、渋谷...

全角にて入力して下さい。

## 【利用上の注意】

公開されている情報は、各能力開発・教育機関から登録された内容に基づき掲載しています。

本データベースは、随時データの更新を行っておりますが、必ずしも利用時点で最新情報ではない場合があります。

本データベース情報を営利、営業等を目的に無断で使用することを禁止します。

高齢・障害・求職者雇用支援機構は、この検索サービスに起因する一切の損害・不利益等について責任を負いません。利用者の責任においてご利用ください。

# 埼玉県内の職業訓練実施施設のご案内

埼玉県立の職業能力開発センターと高等技術専門校においても在職者を対象とした職業訓練を行っています。

講習内容など詳細は、最寄りの高等技術専門校等へお問い合わせください。

校名	所在地	電話番号
職業能力開発センター	〒331-0825 さいたま市北区榎引町2-499-11	048-651-3122
中央高等技術専門校	〒362-0053 上尾市戸崎975	048-781-3241
川口高等技術専門校	〒332-0031 川口市青木4-4-22	048-251-4481
川越高等技術専門校	〒350-0023 川越市並木572-1	049-235-7070
熊谷高等技術専門校	〒360-0842 熊谷市新堀新田522	048-532-6559
熊谷高等技術専門校秩父分校	〒368-0035 秩父市上町3-21-7	0494-22-1948
春日部高等技術専門校	〒344-0036 春日部市下大增新田61-1	048-737-3511

## 【県立高等技術専門校に関するお問い合わせ先】

埼玉県産業労働部 産業人材育成課

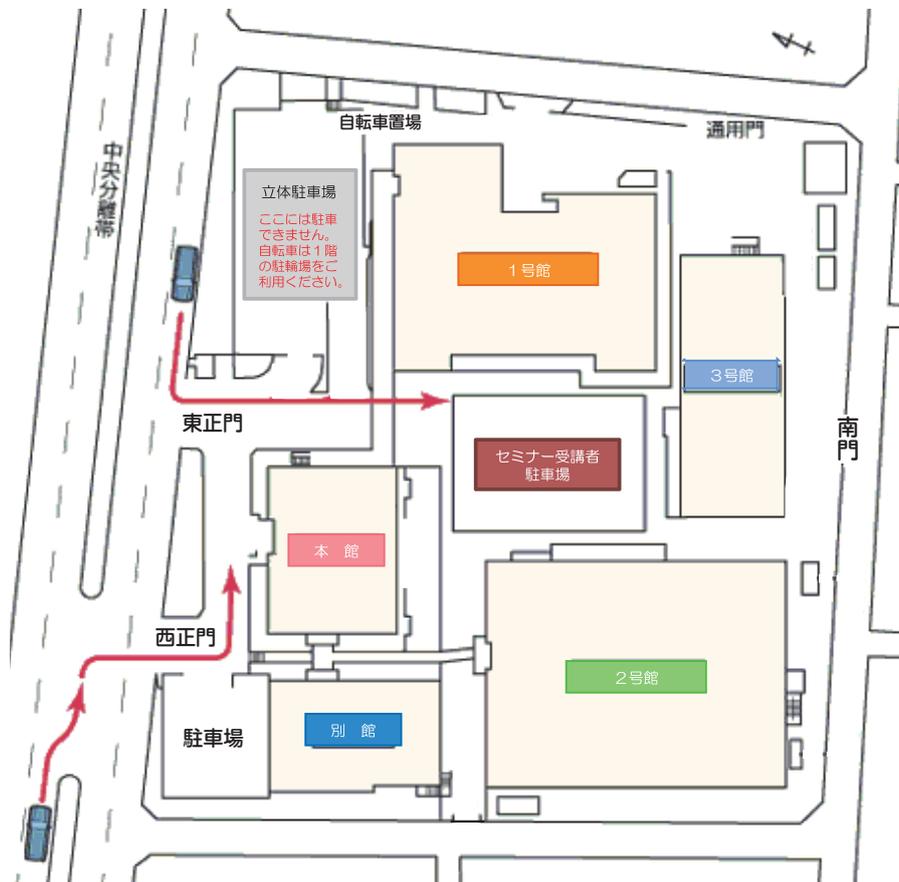
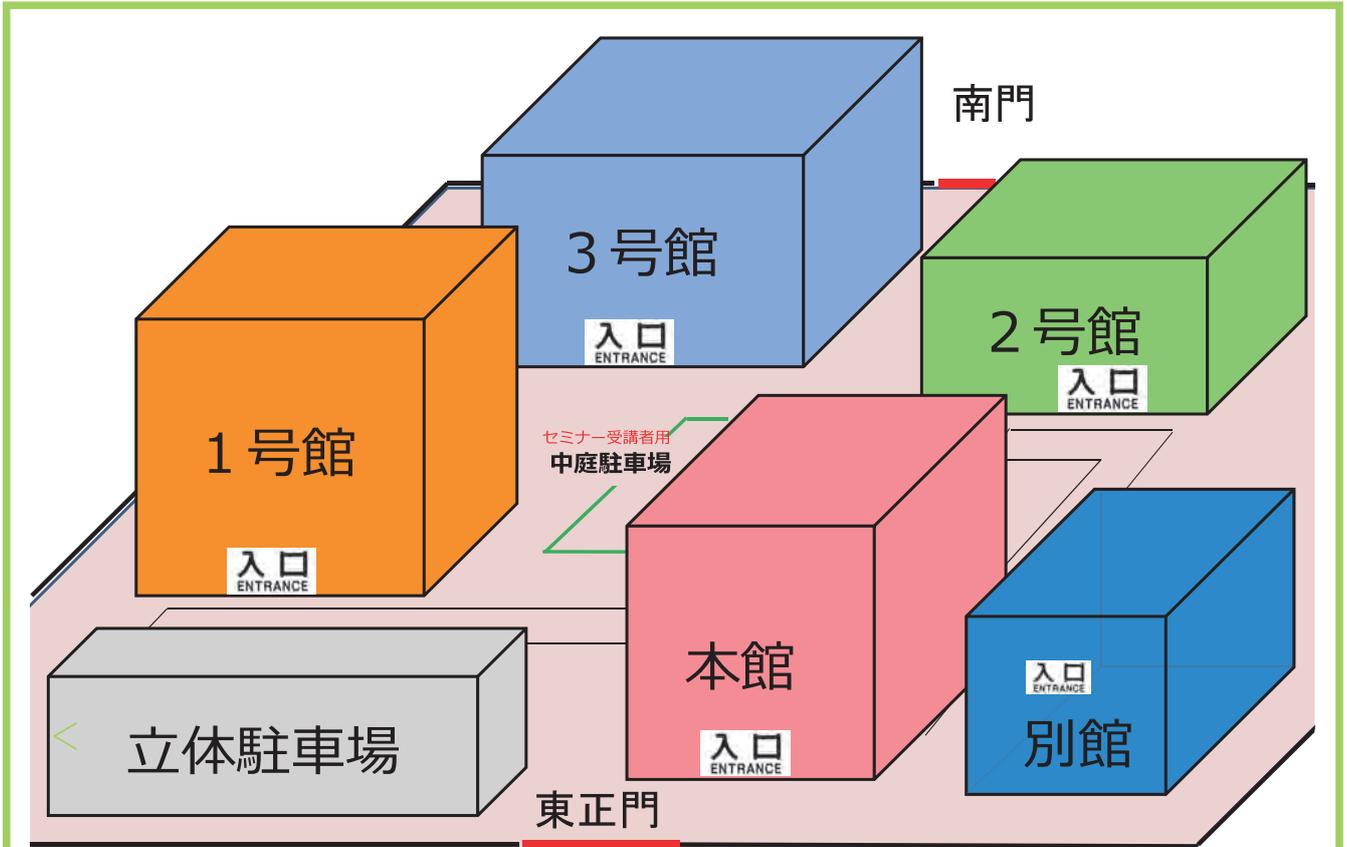
〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1 TEL048-830-4598

Email a4590@pref.saitama.lg.jp

<http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/a0811/index2.html>



# ポリテクセンター埼玉構内案内図



★ お申し込みは下記 FAX番号 又は 電子メール に申込書ファイルを添付してお送りください。  
(電子メールの件名は『能力開発セミナー受講申込』としてください。)

★ お申し込み期限はコース開講日の15日前(土日祝日にあたる場合は、その前の平日)です。

FAX: 048-882-4070

2021/7改

または

saitama-poly03@jeed.go.jp

能力開発セミナー受講申込書

埼玉職業能力開発促進センター 所長 殿

能力開発セミナーについて、訓練内容を確認の上、下記のとおり申込みます。

(太枠内をご記入ください)

令和 年 月 日



受付結果  
については、郵送  
にてお送り  
いたします。  
(お急ぎの方  
は電話にて  
お問い合わせ  
ください)

フリガナ			
申込会社名 (個人名)			
住所	〒	-	TEL
			FAX
担当者(※1)	所属部署等		業種
	フリガナ		企業規模 (該当に○印)
	氏名		A.1~29 B.30~99 C.100~299 D.300~499 E.500~999 F.1,000人以上
受講区分 (該当に○印)	1. 会社からの指示による受講 (※1)		2. 個人での自己受講 (※2)

【ご注意】個人でのお申込みの場合、TEL欄には平日昼間に連絡のつく携帯電話等をご記入ください。

※受付状況	コース番号	コース名	開講日(初日) 月/日	フリガナ 受講者氏名	生年月日 (西暦)
受講可能 キャンセル待ち (番)	1		/	男・女	・
(※3) 就業状況(該当に○): 1.正社員 2.非正規雇用 3.その他					
受講可能 キャンセル待ち (番)	2		/	男・女	・
(※3) 就業状況(該当に○): 1.正社員 2.非正規雇用 3.その他					
受講可能 キャンセル待ち (番)	3		/	男・女	・
(※3) 就業状況(該当に○): 1.正社員 2.非正規雇用 3.その他					
受講可能 キャンセル待ち (番)	4		/	男・女	・
(※3) 就業状況(該当に○): 1.正社員 2.非正規雇用 3.その他					
受講可能 キャンセル待ち (番)	5		/	男・女	・
(※3) 就業状況(該当に○): 1.正社員 2.非正規雇用 3.その他					
※当センターで 記入します	備考				

※1 受講区分の「1.会社からの指示による受講」の場合には、受講者が所属する会社の代表者の方(事業主、営業所長、工場長等)にアンケート調査へのご協力をお願いしております。

※2 個人として受講される方は「住所」「申込会社名(個人名)」欄に個人の住所、氏名をご記入ください。

※3 就業状況の非正規雇用とは、一般的にパート、アルバイト、契約社員などが該当しますが、様々な呼称があるため、貴社の判断で差支えありません。

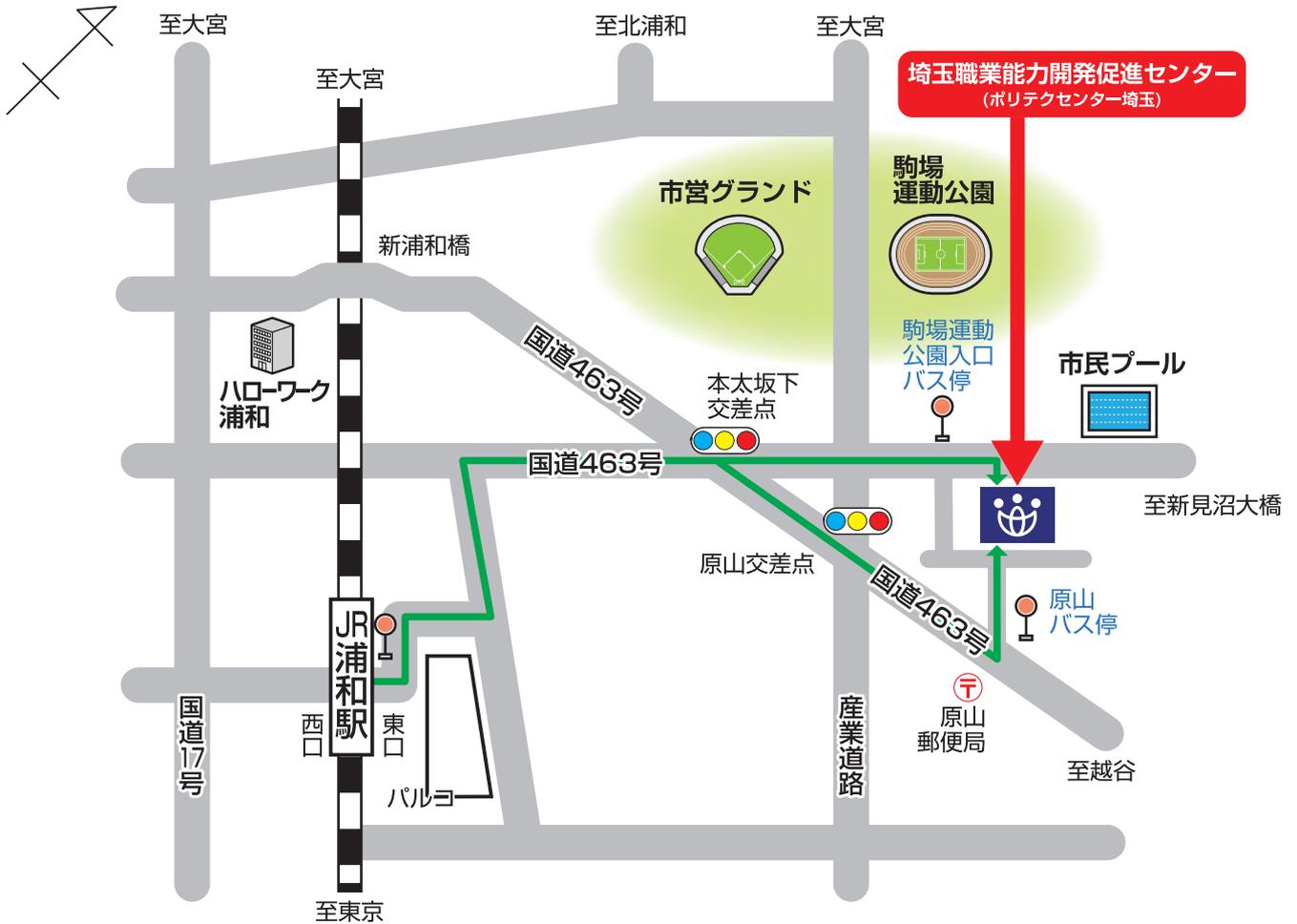
○ 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」(平成15年法律第59号)を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。当機構では、必要な個人情報を、利用目的の範囲内で利用させていただきます。

○ ご記入いただいた個人情報は能力開発セミナーの受講に関する事務処理(連絡、修了証書の交付、修了台帳の整備、セミナー実施後のアンケートの送付等)及び業務統計の他、当機構の能力開発セミナーや関連するセミナーのサービスのご案内に利用させていただきます。なお、受講区分欄1(会社からの指示)の場合は、担当者様あてに送付いたします。

(注) 訓練内容等のご不明な点、あるいは安全面・健康上においてご不安な点がございましたら、あらかじめご相談ください。

ポリテクセンター 埼玉処理欄	①郵送年月日 令和 年 月 日	②郵送年月日 令和 年 月 日	③郵送年月日 令和 年 月 日
-------------------	-----------------	-----------------	-----------------

# 案内図



## 交通のご案内

### いずれもJR使用

大宮駅から約8分	浦和駅
川口駅から約11分	
川越駅から約15分	
南越谷駅から約25分	
新秋津駅から約25分	

### バスのご案内

国際興業バス <http://5931bus.com/>

JR浦和駅東口

国際興業バスホームページ  QRコード

① 番乗り場から  「原山」  
(乗車: 約10分) 下車徒歩3分

② 番乗り場から  「駒場運動公園入口」  
(乗車: 約10分) 下車徒歩5分

## お問い合わせ先



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 埼玉支部

# 埼玉職業能力開発促進センター

(ポリテクセンター埼玉)

訓練第二課

〒336-0931 さいたま市緑区原山2-18-8 TEL 048-882-4003 FAX 048-882-4070

ポリテクセンター埼玉

